

職業大型車機械常識是非題
【 日 文 】

題 號	答 案	題 目
001	X	ディーゼルエンジンはスパークプラグでエンジンが掛ける。
002	O	ディーゼルエンジンが稼動している時、シリンダーの気体は空気だけである。
003	X	ディーゼルエンジンの燃料が不足し、エンジンが始動しない場合は燃料噴射ポンプを検査する。
004	O	ディーゼルエンジンは空気圧縮で高温になった空気に燃料を噴射し、着火させて燃焼する。
005	X	ディーゼルエンジンが高速回転する時、ノッキングが起こり易い。
006	X	ディーゼルエンジンの余熱栓を取り付ける目的は走行中においてディーゼルに容易に着火燃焼させる為である。
007	O	ディーゼルエンジンの燃料システムを正常に保つ為に、燃油中の不純物及び水分を取り除くフューエルフィルターを取り付けるべきである。
008	O	エアブレーキシステムのチューブで空気漏れし、空気圧が足りない時、スプリングブレーキに自動的にロックがかかり走行することが出来ない。
009	O	ディーゼルエンジンでインテークヒーターに空気を取り込むのは冷えたエンジンを始動させ易くするためである。
010	O	ディーゼルエンジンから黒煙が出たら、ノズル不良の可能性がある。
011	X	ディーゼルエンジンはキャブレターからシリンダーに燃料を供給される。
012	O	ディーゼルエンジンが逆回転した場合、エンジンをすぐに停止しなければならない。
013	O	ディーゼル車は過積載或いは急走行をすると、黒煙が出やすい。
014	O	ディーゼルエンジンが使用する燃料は潤滑効果も含まれている。
015	O	後輪にツインタイヤを装着する場合、同じ模様のタイヤを使用し、新旧タイヤを併用するならば、新しいタイヤは外側に使用すべきである。
016	O	タイヤの空気圧測定はタイヤが常温時に行わなければならない。
017	O	タイヤの空気圧が高すぎたり低すぎたりすると、使用寿命が短くなり、パンクし易くなる。
018	O	タイヤはタイプと使用用途に合わせて用い、溝の深いタイヤはグリップ力が強まる。
019	X	キャブオーバーの定期検査、メンテナンスは簡単なのでキャブを半分傾斜すれば作業可能で、他の安全に配慮しなくともよい。

職業大型車機械常識是非題
【 日 文 】

題 號	答 案	題 目
020	○	ブレーキライニングの磨耗はブレーキパッドにかかる時間が増え、ブレーキ機能が劣るので速やかに点検修理してもらおう。
021	○	ディーゼル車が下り坂を走行している際、過剰なブレーキの使用は、ブレーキが効かなくなるので適切なギアと排気ブレーキを組み合わせ使用すべきである。
022	○	下り坂の時には低速ギアと排気ブレーキを使用し、エンジンブレーキを使用する時にはエンジンの最高回転速度の制限に注意する必要がある。
023	○	エアブレーキシステム搭載の車では、連続してブレーキペダルを踏むと、ブレーキに良くないばかりでなく、エアタンクの空気を無駄にし制動機能を下げることとなる。
024	○	大型車のエアータンクは、毎日乗り終えた後に内部に溜まった水を取り除く。
025	×	エアーコンプレッサーの空気圧の充填時間が普段より長い場合、気圧が足りていれば気にしなくても良い。
026	×	ブレーキ圧力の警告ランプが消えず、ブザーが鳴り止まない場合でも、低速走行であれば危険ではない。
027	○	エアブレーキを装備した車両を移動しなければならない時にエンジンが始動しないなどの場合は、スプリングブレーキに空気充填すれば簡単にブレーキをはずすことができる。
028	×	ブレーキ時に車輪がロックされてしまったら、ブレーキの性能は上がるが、車は方向操作の性能を失うことになる。
029	×	燃費の節約、エンジンの負荷を減らす為、下り坂を走行中にニュートラル又はクラッチを切っても良い。
030	○	フロントタイヤのアライメントが整っていないと運転が困難になる他、タイヤの磨耗も増加する。
031	○	オートマチック車が故障で牽引が必要な際、デファレンシャルギアのドライブシャフトを外さなければならない、でなければトランスミッションが潤滑不良を起こし損傷する。
032	○	ギアを前進から後進に入れるには、車が完全に停止してから操作する。
033	○	大型車のオートマチックトランスミッションは小型車と似ており、道路事情、交通状況によって速度を確かめギアを入れる。
034	○	大型車のオートマチックトランスミッションと小型車は同じで、ニュートラルで坂道を下るのは厳禁であり、さもなければギアを損壊する。

職業大型車機械常識是非題
【 日 文 】

題 號	答 案	題 目
035	○	オートマチック車のシフトチェンジでは、ある特定のトランスミッションはボタンを押さなければならず、誤作動防止の為平常はボタンを押す習慣をつけなくとも良いが、特定のギアの位置にはボタンを押すようになっている。
036	○	パワーステアリングは油圧サポートが失われても、車は走行が可能であるが、ハンドルは重くなる。
037	○	エアブレーキシステムのシリンダー管、エアチューブ管等に漏れがあり、気圧不足になると、スプリングブレーキは自動的にロックされ走行出来なくなる。
038	○	触媒コンバーターの取り付けがある車両は火災が起こらないように、運転後は草地や可燃性のある場所に置いてはいけない。
039	×	冷却システムはリザーブタンクが満水であれば、メイン水タンクは検査しなくとも問題はない。
040	×	エンジン冷却水には不凍剤或いは防錆剤が含まれており、取替えの必要はない。
041	○	新車には慣らし運転期間があり、高速走行や急ブレーキは避けなければならない。
042	○	触媒コンバーターのある車は無鉛ガソリンを使用しなければならない。
043	○	急発進は燃費の無駄であり、排気ガス汚染物を増加させる。
044	○	電子制御燃料噴射装置を装備した車が燃料タンクを空にした時、電子制御燃料ポンプを傷め易くなる。
045	○	ターボチャージャーはエンジンオイルにより潤滑にされている。
046	○	コンピュータ制御のガソリンエンジン搭載の車は空気を取り込む口が低く、水中走行における深さは車輪の半分を超えてはならない。
047	○	エンジン状況が良好であるが、フューエルフィルターは定期的に取り替えが必要である。
048	×	触媒コンバーターのガソリン車は、プレミアムガソリンを使用しても良い。
049	○	タイミングベルトは切れると、ひどい場合はエンジン損壊につながるので、定期的に取り替えなければならない。
050	○	オイルフィルターは車の使用説明書の規定に従い、定期的に変更しなければならない。
051	×	エンジンオイルを検査する時、車は平地に停車させエンジンが回っている時に検査する。

職業大型車機械常識是非題
【 日 文 】

題 號	答 案	題 目
052	○	水が溜まっている路面において車を走行させる時はエンジンがひどく損壊するかもしれないので、無理して走行しない。
053	×	エンジンが始動中に、冷却システムの予備タンクの液面が下がっていくのは正常である。
054	○	エンジン冷却システムにはサーモスタットがあり、エンジンの暖気の時間を早めることができる。
055	○	エンジンがオーバーヒートしたら速やかに停車するが、火傷の恐れがあるので、高温状態ではラジエーターキャップを開けてはいけない。
056	○	エンジンオイルが乳白色に変わったら、オイルが冷却水に混ざった可能性があるためメーカーで修理点検が必要になる。
057	×	エンジンの動力を高める為に、消音機を外しても良い。
058	×	エンジン冷却システムのサーモスタットを外せば、燃費を節約できる。
059	○	エアフィルターに酷い汚れがあり未交換であれば燃費が悪く、馬力低下などの現象が見られる。
060	○	低温でのエンジン始動時に、マフラーに水滴がつくのは正常である。
061	×	エンジン冷却システムのサーモスタットを外してもエンジンの寿命には影響を与えない。
062	○	エンジンオイルが多すぎると、スパークプラグにカーボンが溜まり、燃費や馬力の低下が起こる。
063	×	車の走行速度が速ければ速いほど燃費が良く、エンジン回転数は無制限に上げて良い。
064	×	ガソリン車が黒煙を出しているのは正常である。
065	○	エンジンの温度がまだ上がっていないうちに高速回転させると寿命が縮まる
066	○	エンジンは低温の時の方が正常温度の時より燃費が悪い
067	○	触媒転換器を取り付ける目的は一酸化炭素、炭化水素、窒素化合物の排出量を抑えて空気汚染を減少させるためである
068	○	定期的にエンジンオイルを交換するとエンジンの寿命を延ばすことができる
069	○	水冷式エンジンは冷却水がないとエンジンが始動できない
070	×	燃費が悪くなるのはエンジンの部品の関係で、運転行為とは関係ない
071	×	冷却水の量が足りていればエンジンは過熱し過ぎない

職業大型車機械常識是非題
【 日 文 】

題 號	答 案	題 目
072	○	エンジンを掛けた時に青白い煙が出たら、それはオイルが燃えていることを示す
073	○	ブレーキを掛けた時に変な音がするのはブレーキ系統に問題がある。停車して検査すべきである
074	×	ブレーキを掛けた時に変な音がするのは自然なことだから検査する必要はない
075	×	サイドブレーキを掛けたままでも車両の始動には影響がない
076	○	停車中にサイドブレーキを引いておくと車体が滑るのを防ぐことができる
077	×	サイドブレーキと足踏みブレーキは同時に併用できない
078	○	ABSブレーキシステムを設置した車両は緊急ブレーキをかけた時に車両の走行方向をコントロールしやすい
079	×	走行中に前方に障害物を発見してからブレーキを掛けて車両が完全に停止するまでの距離を反応距離という
080	○	ブレーキ板を踏んだ時に弾力性がないのはブレーキオイル管に空気が混入したかオイル漏れの可能性がある。安全のためにすぐに停車して検査すべきである。
081	○	強くブレーキを掛けすぎるとタイヤが磨滅し、車両が横転しやすい
082	×	ブレーキポンプのオイルが不足していると空気が進入しない
083	○	ブレーキポンプの通気孔はいつもきれいにしておくべきだ
084	○	ブレーキ板が緩んでいるのにブレーキが効くのはブレーキ版にあそびの部分がないからだ
085	○	タイヤは一定期間が過ぎたら互いに取り付け換えてタイヤの寿命を延ばすべきだ
086	×	タイヤにエンジンオイルやグリースが粘着しても害はない
087	×	長時間運転してタイヤが過熱しすぎたら冷水をかけて冷やす
088	○	タイヤカバーは走行に欠かせない工具である
089	×	積荷重量が超過してもハンドルの機能には影響がない
090	○	カーブする時、変速箱は内輪と外輪を異なる速度に調整できる
091	○	ギアチェンジ車両はクラッチを踏む時、エンジンと伝動装置がつながっていないので、エンジンの力が伝動装置に伝わらない
092	○	変速機は大小が異なる歯車を利用し、互いに組み合わさって速度を変える

職業大型車機械常識是非題
【 日 文 】

題 號	答 案	題 目
093	○	変速機はローギアの時、速度は遅いが発進力は強い
094	○	変速機の外側はきれいに保ち熱をよく発散できるようにする
095	○	ハンドルが重くなったら、それはタイヤの圧力不足かパワーステアリン系統が故障か駆動ベルトが緩んだかのいずれかである
096	×	パワーステアリング車両はタイヤの向きを変える力とエンジンを切ったかどうかは関連がない
097	○	タイヤの取り付けバランスが悪いとハンドルが揺れて高速走行中に車体がぶれる
098	×	前進ギアからバックギア或いはバックギアから前進ギアに入れ替える時は必ず停車しなくてもいい
099	×	タイヤの圧力が高いほど路面との摩擦も大きい
100	○	155SR12の表示があるタイヤのRは、ラジアルタイヤであることを示す
101	×	オイルディスクブレーキも太鼓式ブレーキもともにブレーキライニングの間隔を調整する必要がある
102	×	ブレーキオイルを節約するために使用済みのオイルを重複して利用できる
103	×	異なるメーカー、規格のブレーキオイルを混ぜてもブレーキ系統の正常な運用ができる
104	×	泥沼を通過する時は高速ギアで通り抜けなければならない
105	×	オートマチック車はエンジンを掛ける時、必ずギアをDの位置にしないと始動しない
106	○	オートマチック車は走行を開始する時ブレーキ版を踏まないとギアチェンジができず、それによって暴走を回避できる
107	○	車両をレッカー車で牽引する時、変速機など伝動部品が損傷を受けないように駆動タイヤは路面から離して牽引する
108	×	自動変速機のオイルを検査したら焦げ臭い臭いがして、色が黒或いは白色乳状になっているのは正常である
109	×	自動変速機のオイル(ATF)の正常な色は青色をしている
110	○	オートマチック車は走行中にエンジンが空回りして速度が上がらない時は変速機が故障しているから修理すべきである
111	○	オートマチック車が坂道を走行するときはローギアを利用しなくてはならない
112	×	オートマチック車が坂道を上る時はDギアを利用しなくてはならない

職業大型車機械常識是非題
【 日 文 】

題 号	答 案	題 目
113	X	パワーステアリング系統にオイル漏れがあると、ハンドルは完全に使用不能になる
114	X	ABSブレーキシステムのある車両はブレーキの性能が優れているので、安全な車間距離を取らなくてもいい
115	O	ABSブレーキシステムのある車両は走行中に文字盤の[ABS]ライトが点滅したら、それは故障を示すサイレンだから、修理する必要がある
116	X	同じ車輪軸には異なる模様と規格のタイヤを使用することができる
117	O	パワーステアリングハンドルが甲高い音を発した時は駆動ベルトが緩んでいる可能性がある
118	O	走行中にクラッチをよく踏むとクラッチ片が破損しやすい
119	X	バッテリーは放電した後に充電しないとバッテリー液の比重が上がる
120	O	エンジンをかけても始動しなかったり、回転速度が遅いのはバッテリーか発動モーターの故障の可能性がある
121	X	エンジンを始動できなかった時は、エンジンが完全に静止するのを待たずにすぐに発動モーターを回転させたほうが始動させやすい
122	X	ヒューズが焼けてしまったら銅線で代用でき、今後ヒューズを交換する手間が省ける
123	O	タバコ点火装置は任意に増やすと電気系統に危険が生じる
124	O	配電盤は高圧電気を一定の発火順序でそれぞれのプラグに送る機能がある
125	X	車両の発動モーターは発電用である
126	O	プラグは高圧電を利用して発火する
127	O	バッテリー液が不足すると電極版が露出してバッテリーの寿命が縮まる
128	X	バッテリーの蓋の上の通気孔はバッテリー液を継ぎ足す時に使用するもので、ふさいではならない
129	X	プラグに流れる電流は低圧電流である
130	O	エンジンのキーを切ってもエンジンがすぐ止まらないのはエンジンの温度が加熱しすぎているからだ
131	O	バッテリーのネジの上に少量のグリスを塗ると腐蝕を防止できる
132	O	発動モーターを使用してエンジンをかける時、10秒から15秒を超えてはならない。超えるとバッテリーと発動モーターが損傷しやすい

職業大型車機械常識是非題
【 日 文 】

題 號	答 案	題 目
133	X	高圧線コイルは高圧電気を低圧電気に換えるものである
134	O	バッテリー液は硫酸を含んでいるので、車上や体にかけてはならない
135	O	バッテリー液が足りない時は蒸留水を加えるべきである
136	O	エンジンが始動し、適度な温度に達した時、電動式冷却ファンが自動的に作動し熱を発散させる
137	O	エンジンが始動した後、各部分の電気は発電機から供給される
138	X	エンジン始動中に充電指示灯 が消えたら、バッテリーが放電していることを意味する
139	O	バッテリーの電氣量が不足して、別の車両からバッテリー供給の援助を受ける時、+極は必ず+極に、-極は故障した車両のアースが良好な場所につなげる
140	O	通常のバッテリーの電氣容量の表示方式はアンペアアワーである
141	X	常温のエンジンを始動させると電動式冷却ファンが回転し始めて絶えず送風して冷却する
142	O	エンジンの温度が高くなると、温度計の針はHを指す
143	X	バッテリーの電氣がなくなったり不足しても高圧電には影響しない
144	O	高圧線が破損して伝導不良になり漏電した時は全部新しい物に換えなくてはならない
145	X	エンジンを始動させる時の電源は発電機から供給される
146	X	バッテリー液が不足すると電極版が露出するが、引き続いて使用してもバッテリーの寿命に影響はない
147	O	プラグの電極部分が赤紫色をしていたら正常燃焼していることを示す
148	O	車上にいくつも電氣消費が多い電氣器具を設置すると燃費が悪くなる
149	O	バッテリーを交換する時、プラスとマイナスを間違えて接続すると車上の電氣器具を損傷する
150	O	クラクションが鳴り止まない時は、クラクションのヒューズを取り外してもいい
151	X	オートマチック車はバッテリーの電力が足りなくてエンジンを始動できない時、車両を推してエンジンを始動させることができる
152	O	エンジンが始動し始めた後も始動モーターのキーをかけたままにしていると始動モーターが損傷しやすい

職業大型車機械常識是非題
【 日 文 】

題 號	答 案	題 目
153	○	エンジンが始動し始めて発電機が発電したりバッテリーが充電をしている時は、この指示灯は消える
154	○	バッテリー液の容量を適度な量に保つと、バッテリーの寿命を延ばすことができる
155	×	オートマチック車はギアをN或いはP以外の位置にしてもエンジンを始動させられる
156	×	エンジンが始動中に電動式冷却ファンが作動しない時は手で動かすことができる
157	○	防犯シークレットナンバーのある音響設備はバッテリーコードを抜く前にそのナンバーを確認しておかないと音響設備が使えなくなる
158	×	夜間に暗い所でバッテリー液を検査する時にライターの火を近づけて照明器具とすることができる
159	○	プラグを検査したら発火部分に黒い炭が溜まっていたら、高圧電の点火力が弱いか混合気体が濃すぎるかのどちらかである
160	○	ヘッドライトの台座を動かした後はライトの光束をもう一度調整しなおす必要がある
161	○	ハロゲンライトは手で触ると放熱に影響して寿命を縮めることになる
162	×	車のバッテリーを取り外すときは必ず先に＋極のコードから抜くべきだ
163	×	冷却コンプレッサー内の冷凍オイルは一般のエンジンオイルを使用できる
164	×	4WDとは四輪駆動車のことである
165	○	ディーゼルエンジンは重い荷物を積載して加速する時に黒煙を最も多く排出する
166	○	車両の駆動方式は前輪、後輪、四輪駆動の3種類に分類できる
167	○	タイヤの取り付け角度を調整する主な目的は、タイヤを平均的に磨耗させて寿命を延ばすことにある
168	○	オイルブレーキの長所は発熱が早くてブレーキの効果がいいことである
169	○	エンジン始動中はバッテリーのコードを抜いてはならない
170	○	変速機のオイル量は多すぎても少なすぎても変速機を損傷させる。多すぎる場合は部品の回転抵抗が強すぎる或いはオイルの中に泡が発生して変質し部品が異常に磨耗する。だから変速機を検査する時は、正確にその量を測らなくてはならない

職業大型車機械常識是非題

【 日 文 】

題 号	答 案	題 目
171	○	定期的にエンジンのガソリン供給状態を調整し、ガソリンの使用効率を上げ、随時空気フィルター、プラグと気化器に注意し、適時交換する
172	○	ブレーキ板に弾力性が失われるとブレーキ版が引っかかって元の位置に戻せなくなる
173	○	ヘッドライトの台座を固定する部品が衝突で変形した時は、いちばんいいのはその部品ごと新しい物に換えてからヘッドライトを取り付けることである。その時、照明角度の調整をしなければならない
174	○	大部分のオートマチック車の自動変速機のオイル(ATF)の表面の高さを検査する時は、エンジンが低速回転している状態の時に行う
175	×	ギアチェンジ車もオートマチック車もギアチェンジ車両も変速機の内部構造と部品は完全に同じものである
176	○	大型車のエアリザーバーに乾燥機を配置していない場合、毎日停車後に、内部に溜まった水を排出する必要がある。乾燥機を備えた車両の場合、元の工場仕様に基づき排水を行い、且つ定期的に乾燥機を交換する。
177	×	エアブレーキシステムの空気圧が低すぎて警告灯が点灯した場合、警告灯が消えるまで減速すべき。
178	×	電子制御ブレーキシステム(EBS,Electric Braking System)を搭載している場合、濡れた不安定な道路を走行するとき、特に注意をしなくても良い。
179	×	大型車のブレーキ効果を更に高めるために、フットブレーキとサイドブレーキを同時に使用して車両を止めるのが良い。
180	○	エアブレーキシステムを搭載する大型車が走行中に空気圧が足りない場合、低圧警報装置がアラーム音を発する。
181	×	ブレーキシステムが高温になると、ブレーキ力が弱まるため、ブレーキパッドの回りに水を吹き掛けて冷ます必要がある。
182	○	大型車のエンジンを切ったあと、ブレーキペダルを3回踏んだ際、空気圧が1 kg/cm ² 以上下がった場合、ブレーキの点検修理が必要である。
183	○	エアブレーキシステムのエアブレーキパッドが摩耗して遊びが大きくなると、ブレーキをポンピングするための空気圧消費量が大きくなる。
184	×	ブレーキオイルDoT5と DoT4は混合して使用してはならず、異なるメーカーでは差異がない。
185	×	エアブレーキシステムはブレーキを踏んだあと、足がブレーキペダルから離れた際に、ブレーキの排気音が聞こえるのは、異常である。
186	○	ベーパーロック現象とは、長時間ブレーキを使用し、ブレーキシューとドラムブレーキが高温になるために、ブレーキオイルの温度が高くなり、高温

職業大型車機械常識是非題

【 日 文 】

		の気化した気泡を形成し、それによりブレーキ効果が悪くなる現象のこと。
187	X	遠心力は車速が上がるほど大きくなり、ハンドルの回す角度と関係ない。
188	O	ドライバーは毎日車を運転する前に、必ず新しい運転記録紙に交換し、日にち、ナンバープレート番号、ドライバーの名前に当時の走行距離を登録すべき。
189	O	デジタルビデオレコーダーの使用方法は、運転する前に、ドライバーのUSB或いはドライバーカードを差し込む。退勤する際には、それを抜いて管理者に渡し、当日の運転行為の状態を送信する。
190	X	ブレーキ圧警告灯が点灯し、ブザーも鳴りやまないが、低速走行をすれば、危険性はない。
191	O	ABSシステムが作動する際、エンジンの排気ブレーキの減速機機能が自動的オフになるよう設定する自動車がある。ドライバーが異なるメーカーの自動車を運転する前は、予め操作マニュアルを読む必要がある。
192	O	下り坂を走行する前に、予めブレーキを踏み、正常に作動するか否かを確認する。
193	X	エアブレーキシステムを搭載する大型車両は、燃料消費量と環境保護の要因を考慮して、エンジンを始動してすぐに走行することができ、ブレーキエアの圧力計が安定するのを待つ必要がない。
194	X	EPB電子制御ブレーキが故障した場合、車両のブレーキ及び運転の特性は変化しない。
195	O	車両を駐車する際は、ブレーキの信頼性を確認すべきであり、坂道での駐車を避けること。
196	O	滑りやすい、汚れた或いは凍った地面では、スリップや横滑りの危険性を避けるために、減速機とブレーキペダルの連動機能をオフにすると共に、下り坂の定速機能の使用を回避すること。
197	O	運転中の適切なブレーキアシスト減速機の操作は、ブレーキパッドの摩損を減らすだけでなく、ブレーキ力の減衰を回避できる。
198	O	油圧減速機は通常トランスミッションとドライブシャフトの間に取り付けられ、一種のブレーキアシスト装置である。
199	O	ほとんどの大型車には補助ブレーキ機能を備えている。異なるメーカーの車を運転する場合、予め操作マニュアルを読む必要がある。
200	X	オートマ車の「エンジンブレーキ」の効果は、マニュアル車よりも優れている。
201	O	排気ブレーキは排気の背圧を利用して車両の減速をアシストする。

職業大型車機械常識是非題

【 日 文 】

202	X	油圧減速機の補助ブレーキとは、エンジンの油圧反転の原理を使って、車両の減速をアシストする。
203	X	電磁ブレーキは油圧の反転の原理を使って、ドライブシャフトの回転を阻止して車両を減速する。
204	X	補助ブレーキ装置は、車両のスピードを落とすだけでなく、緊急ブレーキや駐車の時にも使用できる。
205	O	通常大型車がブレーキを踏む前に、まず補助ブレーキを使って減速をするべきである。
206	X	補助ブレーキを使って減速すると、ドラム(ディスク)ブレーキの温度が上昇する。
207	O	排気補助ブレーキを使って減速すると、エンジンがわずかに振動し、異音が発生するのは正常である。
208	O	ESP横滑り防止装置は、突発的な状況に遭遇した際に、横滑りせずに車を安定させることができるものである。
209	X	補助ブレーキを使用する際、トランスミッションの高いギアで制御すれば、減速効果が向上する。
210	O	補助ブレーキは減速機能のみであり、メインブレーキ(フットブレーキ)の代わりにならない。
211	O	排気ブレーキは下り坂或いは走行中に減速が必要な際に操作すべきである。エンジンの回転数が高いときに、低速ギアに入れると効果がより顕著となり、ブレーキシステムの摩耗を減らすことができる。
212	O	長い下り坂にて、補助ブレーキのオンオフを頻繁に切り替えると、加熱故障や、自動解除が発生しやすくなる。
213	X	電磁ブレーキは、エンジンの排気量を制限することで、エンジンの出力を低下させ、エンジンブレーキの効果を向上させる。
214	O	補助ブレーキは、排気ブレーキ、電磁ブレーキと油圧減速機が含まれる。
215	O	大型車のタイヤ止めのサイズは、タイヤの高さの1/8から1/4以上が必要であり、後輪に置くことをお勧めする。
216	X	移動式クレーンを操作する際、アウトリガーの下に、鋼板や専用マットを敷く必要がない。
217	O	移動式クレーンを坂道で操作する際は、操作バランスを維持するために、ダンネージを敷き、そしてタイヤ止めを後輪に置く。
218	X	移動式クレーンのアウトリガーは排水溝或いは下水道の排水口の蓋の上に置くことができる。車体が水平許容範囲内であることのみを注意すれば、転覆することがない。

職業大型車機械常識是非題

【 日 文 】

219	X	作業効率を向上させるために、移動式クレーンのアームを回収する前に、アウトリガーを先にひっこめても良い。
220	O	移動式クレーンは走行中のトラブルを回避するために、全ての部品が確実に固定位置に収納していることを確認し、車高及びプレートなどの突起物にも注意すべき。
221	X	時間を節約するために、貨物を積むとき、走行しながらバケットを上げることができる。
222	O	TCSTトラクションコントロールシステムの機能とは、走行中に駆動輪がスリップした際、エンジンの出力トルクが小さくなり、スリップしたタイヤを自動ロックすることで、駆動輪のスリップを回避する。
223	O	運転記録カードを設置する前に、まず日にち、ナンバープレート番号、ドライバーの名前に当時の走行距離を登録すること。
224	O	ドライバーは毎日車を運転する前に、必ず新しい運転記録紙に交換し、日にち、ナンバープレート番号、ドライバーの名前に当時の走行距離を登録すべき。
225	O	ドライブレコーダーの使用方法は、運転する前に、ドライバーのUSB或いはドライバーカードを差し込む。退勤する際には、それを抜いて管理者に渡し、当日の運転行為の状態を送信する。
226	O	坂道でエンストした場合、再びエンストして車が下がるのを回避するために、まず1速から始動すべきである。
227	X	タイヤの溝が浅い、或いはタイヤ圧が低いほど、水浸しの道路を走行する際に、ハイドロプレーニング現象が生じにくい。
228	O	ドライバーをサポートして自動車の動きを制御するシステムを「先進運転支援システム(エーダス)」と呼ぶ。
229	O	大型トラックの積荷がオーバーしていなくても、均等に積んでいなければ、タイヤ及びベアリングの負荷が大きくなり、パンク或いはシャフトが破損する恐れがある。
230	O	タイヤ交換をしてボルトを締める際、インパクトレンチで直接キツク締めるべきではなく、ボルトが負荷に負けて折れるのを避けるためにも、トルクレンチを使う方が良い。
231	X	車が下り坂を走行する際、ガソリンを節約するために、ニュートラルギアで走行しても良い。
232	O	車を発進する前に、バックミラー及びドライビングビジョンアシストシステムをチェックし、障害物或いは歩行者の有無を確認すべき。
233	O	大型車を運転する前に、規定に基づき運転記録カードが指定された場所と時間に置いたか否かを確認すること。

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

題號	答案	題 目
001	1	ディーゼルエンジンの燃焼は(1)空気を圧縮した後に生じる高温で着火する(2)プラグで発火する(3)空気とディーゼルオイルを混ぜて圧縮した高温で着火する
002	3	ディーゼルエンジンの圧縮行程は(1)ディーゼルオイルを圧縮する(2)空気とディーゼルオイルを混ぜて圧縮した高温で着火する(3)空気だけを圧縮する
003	3	ディーゼルオイルをシリンダーに送り込むのは(1)気化器(2)空気圧(3)噴射ポンプと燃料ノズル
004	2	ディーゼルエンジンのウォータージャケットの機能は(1)潤滑(2)冷却(3)伝動
005	2	ディーゼルエンジンが作動中の通常温度は(1)華氏70度から85度(2)摂氏75度から95度(3)摂氏140度から180度
006	1	ディーゼルエンジンの燃料ノズルからシリンダーに送り込むのは(1)ディーゼルオイル(2)ディーゼルオイルと空気の混合体(3)空気
007	2	ディーゼルオイルを霧状にしてシリンダー内に吹き込むのは(1)気化器(2)燃料ノズル(3)給油ポンプ
008	2	ディーゼルエンジン車が走行中に黒煙を排出したら、その原因は以下のどの可能性があるか(1)オイルが燃焼している(2)燃料ノズルが不良(3)燃料系統に空気が混入
009	2	ディーゼルエンジン車が走行中にガス欠になったら(1)燃料を足したらいい(2)燃料を足した後に供油系統の空気を抜く(3)以上双方とも正しい
010	1	ディーゼルエンジンの圧縮比と燃焼圧力はガソリンエンジンよりも(1)高い(2)低い(3)同じ
011	1	ディーゼルエンジンの振動と騒音はガソリンエンジンよりも(1)大きい(2)小さい(3)同じ
012	1	タイヤの圧力が足りない時、発生しやすい現象は(1)タイヤの両側が磨耗する(2)タイヤの中央部分が磨耗する(3)影響はない
013	3	左右のタイヤの磨耗状態が異なる時、それはたぶん(1)ブレーキ不良(2)エンジンの調子が悪い(3)タイヤの取り付け不良
014	2	タイヤのナットを取り外すにはどの工具を使用しなくてはならないか(1)オープンレンチ(2)箱型スパナ(3)ドライバー
015	3	大型車に傾斜可能な運転室を取り付ける際には(1)ブザーが鳴り止んだら取り付け完了(2)ブザーが鳴り止んでも、定位置に完全に固定する(3)定位置に固定して、安全ロックをかけて完成する

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

題號	答案	題 目
016	2	大型車には排気ブレーキが備えられているが、それはいつ使用するか(1)加速時(2)減速時(3)定速走行中
017	1	ブレーキライニング片が磨耗するとブレーキ版のあそびは(1)大きくなる(2)小さくなる(3)変わらない
018	3	ツインタイヤのブレーキシリンダの一つが漏れていると(1)その他の3つのタイヤはブレーキが効く(2)完全にブレーキが効かなくなる(3)もう一方の軸のタイヤはブレーキが効く
019	1	大型車のサイドブレーキは通常以下どの部分にブレーキをかけるか(1)伝動軸と後輪(2)クランクシャフト(3)前輪
020	3	もしあるタイヤにブレーキがかかったままになったら、その故障の原因はどこにあるか(1)真空動力シリンダー(2)全てのブレーキシリンダー(3)そのタイヤのシリンダー或いはブレーキ系統
021	2	ブレーキ版を踏んだ時にブレーキ版が緩くなっているのを感じたら(1)オイル管が詰まっている(2)オイル漏れかオイル管に空気が混入した(3)ブレーキライニング片にオイルが付着した
022	3	サイドブレーキを緩めるのは(1)エンジンを始動させる前(2)エンジンを始動させてギアチェンジする前(3)ギアチェンジをして発進する前
023	1	気圧ブレーキ系統の正常機能を維持するために、気体貯蔵タンクは(1)走行後は、いつも一度排水をしなければならない(2)1週間に一度排水しなければならない(3)定期メンテナンスの時に排水しなければならない
024	1	ブレーキを過度に使用しすぎると(1)ライニング片とブレーキ盤が加熱してブレーキの効果が軽減する(2)ライニング片が加熱するがブレーキの効果には影響がない(3)ブレーキの効果に影響はない
025	3	車両が急な坂道や長距離の坂道を走行する時、いかにしてブレーキ機能の低下を防ぐか(1)ブレーキ板を踏んだらいい(2)ブレーキ板を踏む以外にエンジンブレーキを併用する(3)ブレーキ版を踏む以外にエンジンブレーキと排気ブレーキの双方を有効的に利用する
026	2	圧縮空気を利用してブレーキの効用を補助するのはどの車種か(1)小型車(2)大型車(3)小型、大型車双方
027	1	クラッチの踏み台のあそびが大きすぎると1.^ ギアチェンジが困難になる 2.^ エンジンの馬力が低下する 3) クラッチが滑る
028	1	クラッチを完全に緩めないと(1)クラッチ板を過度に損傷することになる(2)ギアチェンジが容易にできる(3)タイヤが磨耗しやすくなる

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

題號	答案	題 目
029	1	後輪に補助タイヤを併用する時、それらのタイヤの気圧の差は以下のどの範囲内にすべきか(1)5%(2)15%(3)25%
030	3	パワーステアリングに使用するオイルの種類は(1)エンジンオイル(2)変速箱歯車オイル(3)専用の特定オイル
031	1	オートマチック車は駐停車する時、ギアはどの位置にして、サイドブレーキを掛けるべきか(1)Pギア(2)Rギア(3)Nギア
032	3	エンジンが始動している時の正常温度は(1)冬は高くなる(2)夏は低くなる(3)常に一定範囲に保つべきだ
033	1	排気ガスが黒い色をしている時、その原因は(1)気化器不良(2)オイルが多すぎる(3)マフラーが燃えている
034	2	エンジンが過熱しすぎる原因は(1)プラグが断裂したからだ(2)伝動ファンが始動していないからだ(3)エアコンが効いていないからだ
035	2	触媒転換器を設置した車両は以下どのガソリンを使用すべきか(1)低鉛ガソリン(2)無鉛ガソリン(3)有鉛ガソリン
036	1	LPガスエンジンの点火は以下のどれによるか(1)プラグで点火(2)余熱栓(3)高温高圧で自然発火
037	1	コンピュータ制御の噴射エンジンを気化器エンジンと比較すると、主要な長所は(1)排気汚染が少なく燃費がいい(2)シリンダー圧縮比が高い(3)エンジンの振動が少ない
038	1	エンジンが始動したのに始動キーを再び回すと何が最も破損しやすいか(1)始動モーター(2)発電機(3)クラッチ
039	3	四気筒エンジンの油槽内に以下の何を加えなければならないか(1)オイルとガソリンの混合オイル(2)歯車オイル(3)エンジンオイル
040	3	四気筒エンジンの正常な排気ガスの色は(1)黒(2)青白い(3)無色
041	3	常温のエンジンを発動させたばかりの時にはアクセルを強く踏まないほうがいい。その主な原因は(1)エンストを起こしやすく燃料を浪費する(2)エンジンの寿命を縮める(3)以上双方とも正しい
042	2	エンジン冷却システムの温度調整器は通常どの位置に設置するか(1)水箱の中(2)エンジンの水の出口(3)エンジンの水タンク内
043	3	排気汚染が少なく騒音も小さい車種は(1)ディーゼル車(2)ガソリン車(3)電動車
044	1	レシプロエンジンの振動と騒音が大きいのは(1)ディーゼルエンジン(2)ガソリンエンジン(3)液化石油エンジン

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

題號	答案	題 目
045	2	エンジンは以下どの回転の時に前進力が最大で燃費がいちばんいいか (1)低速度回転(2)中速度回転(3)高速度回転
046	2	エンジンはどうやって始動を停止させるか(1)燃料を供給しない(2)プラグを 発火させない(3)シリンダーの圧力を下げる
047	1	ガソリンの量が足りるのにエンジンを始動できない場合、以下の何を検査す べきか(1)プラグが発火しているか(2)シリンダーの圧力(3)マフラーの隙 間
048	1	室内でエンジンを始動させる時、特に注意すべきことは何か(1)車庫の通気 は良好か(2)マフラーに騒音がないか(3)プラグに異常音がしないか
049	2	ターボチャージャーを装備する利点は(1)エンジンのアイドリング性能の向 上。(2)エンジンの中、高速での性能を上げる(3)エンジンの一定速度での動 作の向上。
050	3	エンジン故障のライトがついたのにエンジンがまだ始動している時の対策は (1)使用を停止し、救援を待つ(2)エンジンが始動できれば問題はない(3) 走行してもいいが、できるだけ速く修理工場で検査修理する必要がある
051	1	液化ガソリンエンジンの長所は(1)排気汚染を少なく抑えられる(2)エンジ ン内部の部品は潤滑オイルが必要ない(3)騒音がない
052	3	液化ガソリン車を運転中にガスの臭いがした時の正しい処理方法は(1)車 両を停める(2)エンジンを切ってボンネットと後方トランクを開ける(3)以上 双方とも正しい
053	1	液化ガソリン車のボンベは(1)液化石油ガス(2)ガソリン(3)ディーゼル
054	1	チョークを使用したエンジンの常温時の正確な始動方法は(1)チョークを引 く(2)直接始動モーターを始動させる(3)連続してアクセルを踏み続ける
055	2	走行中にエンジンの温度が正常な温度より低い場合は(1)冷却システムが損 傷しやすい(2)燃費が悪くなる(3)気化器が詰まりやすい
056	2	ガソリン噴射エンジンの正しい始動方法は(1)何度もアクセルを踏み続ける (2)直接エンジンを始動する(3)チョークを操作する。
057	2	冷却システムの副水箱液の量が多すぎる。その故障の原因は(1)水が漏れた から(2)圧力式水タンクの蓋が不良(3)温度調整器を設置していない
058	1	エンジンが高温の時に水タンクの蓋を開けると(1)高温の水が噴出して怪 我をする(2)温度調整器を破損する(3)水のタンクが破裂する
059	3	空気フィルターの効用は(1)ほこりがシリンダーに入るのを防ぐ(2)フィル ター内の火が外に飛ぶ危険性を防ぐ(3)以上双方とも正しい

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

題號	答案	題 目
060	2	エンジンが低速回転をしている時にオイル圧力警告灯がついたら、どこが故障した可能性があるか(1)オイルの量が多すぎる(2)エンジン内部のそれぞれのシャフトの磨耗が激しい(3)ピストンオイルリングが断裂
061	3	空冷式エンジンの欠点は(1)故障が多い(2)構造が複雑(3)騒音が大きくて冷却効果が不安定
062	1	エンジンの冷却水は以下のどれが最適か(1)軟水(2)硬水(3)ミネラル成分の多い水
063	2	エンジンが過熱しすぎて発電機も作動しない時は、たぶん(1)冷却水が不足している(2)ファンのベルトが緩んだか切れた(3)ピストンが引っかかった
064	2	冷却水に乳白色状のオイルが含まれている時は、たぶん(1)オイル濾過機の状態がよくない(2)シリンダーガスケットに問題がある。(3)温度調整器の状態がよくない
065	1	エンジンを始動させて時間が経っても正常な始動温度に達しない時は、たぶん(1)温度調整器が損傷したか未設置(2)オイルが多すぎる(3)排気管が詰まっている
066	2	常にクラッチを踏み続けていると最も損傷しやすいのはどの部分か(1)クラッチ軸(2)クラッチ片(3)クラッチレリーズフォーク
067	2	クラッチ片が磨耗すると踏み板のあそびは(1)増大する(2)減少する(3)変わらない
068	2	ブレーキを掛ける時に車両が左右に傾くのは(1)ブレーキオイルが多すぎる(2)前輪のうち的一方のタイヤのブレーキが効いていない(3)ブレーキ管の中に空気が混入している
069	3	ブレーキ板にあそびがないと、どの現象が起こる可能性があるか(1)ブレーキの効果が小さくなる(2)ブレーキがよく効く(3)ブレーキをかけたまま緩められなくなる
070	1	エンジンが車体前部にあり後輪が駆動する車両のクラッチはどこにあるか(1)変速機の前(2)変速機の後ろ(3)変速機の中
071	2	タイヤの平衡性が悪いと高速走行をした時に(1)ブレーキが効かなくなる(2)ハンドルがぶれる(3)ハンドルがきかなくなる
072	1	ブレーキ板を離しても元に戻らない時、その原因は(1)ばねが伸びきってしまった(2)接続セットが弛んだ(3)ブレーキ-シュー スプリング が効かない
073	1	カーブを曲がる時、駆動車輪の回転速度を変える装置は(1)差速器(2)変速機(3)クラッチ
074	2	圧縮空気圧を示すメーターは(1)油圧計(2)気圧計(3)温度計

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

題號	答案	題 目
075	3	オートマチック車はエンジンを始動させる時にはギアをどの位置にすべきか (1)P或いはR(2)N或いはD(3)P或いはN
076	1	走行中に車両が一方方向に傾く原因は(1)タイヤの圧力が均一でない(2)クッションのばねが弱い(3)ハンドルのあそびが大きすぎる
077	2	正常に車両を使用している時間が長いほど、クラッチ板のあそびは(1)大きくなる(2)小さくなる(3)変わらない
078	1	液圧操作によるクラッチに使用するオイルは(1)ブレーキオイル(2)エンジンオイル(3)歯車オイル
079	2	タイヤの構造の中で最も弱い部分は(1)表面(2)側面(3)チューブ
080	1	車両を使用する時間が長いほどブレーキ板のあそびは(1)大きくなる(2)小さくなる(3)変わらない
081	2	タイヤの圧力が均一でない場合、起こりやすい現象は(1)エンジンが大きく揺れる(2)ブレーキが均一にかからない(3)影響はない
082	3	タイヤの圧力が高すぎる時に起こりやすい現象は(1)燃費が悪くなる(2)方向転換が大変になる(3)タイヤの中央部分が速く磨耗する
083	3	タイヤの寿命に最も影響を与える要素は(1)速度(2)気温(3)積載重量
084	1	クラッチ片が磨耗した時、以下のどの現象が起こるか(1)エンジンの回転速度が上がっても車両の速度は変わらない(2)変速機のギアが勝手に入れ替わってしまう(3)方向転換が困難になる
085	1	タイヤに155S R13と表示がある時、155Sの意味は(1)タイヤの幅が155ミリ(2)タイヤの断面の高さが155ミリ(3)タイヤホイールの直径が155ミリ
086	1	変速機の歯車オイルが多すぎると(1)動力を消耗し、過熱し過ぎる(2)変速機がギアチェンジできなくなる(3)変速機のギアが勝手に入れ替わってしまう
087	2	エンジンオイルと変速機の歯車オイルの交換はいつ行うべきか(1)エンジンを始動する前の常温時(2)走行後油の温度が上昇した後(3)温度は関係ない
088	2	タイヤの規格はタイヤのどこに記載されているか(1)タイヤの表面(2)タイヤの側面(3)チューブ
089	3	オートマチック車の欠点は(1)クラッチを使わなくてもギアチェンジができること(2)走行し始めた時にエンストしないこと(3)エンジンプレーキの効果がよくないこと

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

題號	答案	題 目
090	1	オートマチック車を牽引する時に駆動車輪を持ち上げることができない場合、以下のどの原則を守って自動変速機の損傷を免れるか(1)低速度で短距離を牽引する(2)低速で長距離を牽引する(3)高速で短距離を牽引する
091	2	自動変速機オイル(ATF)の色は(1)透明褐色(2)透明な赤(3)不透明な黒
092	3	前輪駆動車は差速器をどこに設置するか(1)クラッチの後部(2)伝動シャフトの後方(3)変速機の中
093	3	後ろ軸のアセンブリの主要な効用は(1)最後の減速をする(2)車両がカーブする時に左右のタイヤの速度を異なる速度に調節する(3)以上の双方とも正しい
094	2	ABSブレーキシステムのある車両は[ABS]の警告ライトがいたら、(1)全てのブレーキが効かなくなる(2)ブレーキ効能が大きなダメージを受けるので、できるだけ速く修理工場で修理する(3)ブレーキ系統と関係ない
095	3	ブレーキライニング片に油脂或いは油類が付着したら、ブレーキを掛けた時に(1)車体が揺れる(2)異常な音がする(3)ブレーキが効かなくなる
096	1	タイヤに油脂が付着したらどうすべきか(1)きれいな水で洗い取る(2)オイルで洗う(3)ディーゼルオイルでふき取る
097	1	バッテリー液が不足している時、何を加えるべきか(1)蒸留水(2)任意の河川井戸水(3)一般家庭の水道水
098	2	バッテリーの電極を繋げ間違えたら(1)直流発電機の整流子が焼けてしまう(2)交流発電機の整流器リングが焼けてしまう(3)影響はない
099	2	バッテリーのねじの上に何を塗ったら腐蝕を防ぎ、電気伝導をよくできるか(1)ペンキ(2)グリース(3)アスファルト
100	3	車両を数ヶ月以上停車しておく場合はどうすべきか(1)バッテリー液をすべて空けてしまう(2)電気を使い切ってしまう(3)バッテリーに充分充電しておく、ネジを抜いておくほうが良い
101	2	発電機の発する電圧が高いほどライトは明るくなるが、その寿命は(1)長くなる(2)短くなる(3)変わらない
102	3	バッテリー液の量は(1)指示線の下線より低く保つ(2)電極版と同じ高さに保つ(3)液面の指示の間に保つ
103	2	始動モーターの電流は(1)発電機が供給する(2)バッテリーが供給する(3)発電機とバッテリーが供給する
104	1	バッテリー液がよく溢れ出て泡が生じる場合は何を検査すべきか(1)充電系統(2)冷却系統(3)始動系統

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

題號	答案	題 目
105	2	バッテリー上の小さい孔は(1)バッテリー液の量を確認するもの(2)通気用(3)バッテリー液を注入するためのもの
106	3	エンジンの温度が低い時は温度計の針はどこを指すか(1)H(2)真ん中(3)C
107	1	車両が使用しているバッテリーの電気は(1)直流(2)交流(3)高圧電
108	3	バッテリー液の成分は(1)純硫酸(2)蒸留水(3)硫酸と蒸留水の混合液
109	3	定期的にメンテナンスを行い、プラグは(1)故障した時だけ交換する(2)故障した物とその隣の物だけ交換する(3)全部メンテナンス時に交換する
110	3	プラグの火花を発する部分は(1)大きいほどいい(2)小さいほどいい(3)それぞれのメーカーで規格が異なる
111	1	寒い日にエンジンを始動させると、バッテリーの化学反応が遅いので始動モーターがエンジンを回転させる速度は夏よりも(1)遅い(2)速い(3)変わらない
112	3	バッテリーのネジが緩んできつ閉められない時は(1)かなづちできつ打ち込む(2)長いネジできつ閉める(3)ネジと電線を交換する
113	3	走行中に左右の方向指示ライトの点滅する速度が異なる時は、たぶん(1)ライトのスイッチが故障した(2)ヒューズが跳んだ(3)一方の電球が壊れた
114	2	バッテリー液を追加注入中に溢れ出てしまっって車両の板金の上に付着した場合は(1)きれいにふき取る(2)きれいな水で洗ってから乾いた布できれいにふき取る(3)自然に蒸発させる
115	1	プラグに接続する電線は必ず(1)高圧電に耐えられるものを使用する(2)長ければ長いほどいい(3)一般の銅線を使用したらい
116	3	始動モーターが始動しないのは、たぶん(1)配電盤が損傷した(2)ファンのベルトが損傷した(3)バッテリーのネジが緩んだ
117	3	バッテリー液がよく不足するのは(1)車の電気用品が多すぎるから(2)充電システムが故障しているから(3)以上の双方とも正しい
118	1	エンジンの回転速度が設定の赤い区域を越えた場合(1)エンジンは過熱しすぎやすい、或いは損傷しやすい(2)関係ない(3)ブレーキが効かない
119	3	ヒューズを取り出して検査したらすでに焼けてしまっていた(1)焼けないように銅線に換える(2)鉄の線に変える(3)同じアンペアーのヒューズに換えて、電気回路を検査する
120	1	プラグを変える時に注意すべきことは 1.^ 同じメーカー、型のプラグを使用 2.^ 別のメーカーの違う型のプラグを使用 3) 値段の高いプラグを使用

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

題號	答案	題 目
121	3	ワイパー系統を検査する時(1)水を噴出さないで直接ワイパーを始動させるべきだ(2)ワイパーを始動させてから水を噴出すべきだ(3)水を噴出してからワイパーを始動させてフロントガラスが損傷しないようにするべきだ
122	3	バッテリー液の量を検査し、追加注入する時は(1)孔をひとつだけ検査したらいい(2)孔を二つだけ検査したらいい(3)全ての孔を検査しなくてはならない
123	2	バッテリー液が足りない時、何を注入するべきか(1)希硫酸(2)蒸留水(3)電水
124	3	車に設置した電気用品が多すぎる時に発生する状況と以下のどの状況は関係がないか(1)燃費が悪くなる(2)バッテリー液が減りやすくなり電線が過熱気味になる(3)馬力が上がる
125	3	走行中に温度計の針がHの端まで上がった時は何を検査すべきか(1)水箱の水の量(2)オイルの量(3)以上双方とも正しい
126	3	夜間に走行中ヘッドライトのロービームの明るさが左右で異なる時、まず何を検査すべきか(1)バッテリーのネジ(2)スイッチ(3)ロービームのヒューズ
127	2	エンジンが始動中に、もしバッテリーの電線を抜くと以下のどの部品が焼けてしまうか(1)バッテリー(2)使用中の電気器具(3)発火コイル
128	1	產生動力。オイル噴射エンジンの混合ガスの発火燃焼は以下のどれによるか(1)プラグの発火(2)グロープラグ加熱(3)高温高圧で自然発火し、動力を発する
129	2	バッテリーのプラスとマイナスを間違えて繋げてしまったら(1)かまわない(2)コンピューターと電気器具が損傷しやすい(3)ヒューズが跳ぶ
130	1	燃料が不足した時は燃料メーターはどこを指すか(1)E(2)F(3)H
131	2	故障した車両が他の車両から電気供給を受ける時、使用する電線は以下のどれを使用すべきか(1)できるだけ細いもの(2)できるだけ太いもの(3)一般の銅線で通電性のよいもの
132	1	発電機が騒音を発する時、その原因は(1)シャフトの磨耗が激しいか、シャフトが曲がっている(2)カーボン ブラシのばねが強すぎる(3)ばねが弱すぎる
133	3	ハイビームで車両の前を照らす時、歩行者と障害物がよく見える距離は(1)40メートル(2)60メートル(3)100メートル
134	1	ロービームで車両の前を照らす時、歩行者と障害物がよく見える距離は(1)40メートル(2)80メートル(3)100メートル

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

題號	答案	題 目
135	3	95無鉛ガソリンと98無鉛ガソリンの最も重要な違いは(1)熱値(2)含鉛量(3)オクタン値
136	1	車両が触媒転換器を使用する最も主要な目的は(1)排気ガスの排出を抑える(2)エンジンの騒音を抑える(3)エンジンの寿命を延ばす
137	2	タイヤにある19SSR14の表示は何を意味するか(1)タイヤの直径が14インチ(2)タイヤホイールの直径が14インチ(3)タイヤホイールの直径が14センチ
138	3	ブレーキオイル貯蔵タンク中のブレーキオイルを長時間交換しないと、連続して下り坂を走行する時(1)ブレーキがかかったままの状態になりやすい(2)ブレーキ距離が短縮できる(3)ブレーキをかけた時に効かなくなりやすい
139	1	エンジンを始動した時にハンドルを左右いっぱいまで切った時に異常な音がするのは、以下のどのベルトが緩んだための故障と考えられるか(1)ハンドルのベルト(2)冷却ファンのベルト(3)発電機のベルト
140	1	タイヤの上の185/70SR14の文字は何を表すか(1)規格寸法(2)適用温度(3)製造日時
141	1	よく積載超過をすると以下のどの部品が容易に損傷するか(1)サスペンション スプリングとクッション(2)発電機或いは始動モーター(3)タイヤのナット
142	2	費用を節約するためにバッテリーを容量の小さいものに変換すると(1)ヘッドライトが節電できる(2)エンジンが始動しにくくなる(3)燃費が悪くなる
143	2	エンジンオイルを長時間交換しないと以下のどの部品が最も破損しやすいか(1)空気清浄機(2)エンジン内部の部品(3)高圧線
144	2	エアブレーキシステムの大型車の標準気圧は、下記のどれか：(1)3～6 kg/cm ² (2)6～9 kg/cm ² (3)11～15 kg/cm ² 。
145	1	大型車のフルエアブレーキシステムの記述について、間違っているのは下記のどれか：(1)ブレーキ力はマスターシリンダ内の高圧オイルによるものである。(2)数回ブレーキペダルを踏んだあと、システム圧力が規定値を大幅に下回る場合は、異常現象であることが多い。(3)各車輪のブレーキ力は、サブポンプ内の空気圧から来たものである。
146	1	スプリングブレーキの説明が間違っているのは、下記のどれか：(1)各車輪のブレーキ力は、サブポンプ内のバネによるものである。(2)システムの圧力が規定値より下回ると、タイヤが自動的にロックする。(3)駐車する際の力は、スプリングブレーキのサブポンプのバネの力である。
147	2	ブレーキを過度に使用してドラムブレーキの温度が上昇すると、制動距離が：(1)短くなる。(2)長くなる。(3)変わらない。

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

148	1	エアブレーキシステムが正常に機能させるために、自動排水機能のないエアリザーバーは(1)毎日運転後、少なくとも一度は排水する。(2)定期的なメンテナンスの際に排水する。(3)排水する必要が全くない。
149	2	エアブレーキが通常使われているのは:(1)小型車(2)大型車(3)ハイブリッド車
150	1	大型車のメインブレーキ(フットブレーキ)の多くは空気を圧縮するエアブレーキシステムを採用している。山道の長い坂道を下る際、メインブレーキを密に使用すると、エアタンク内の空気圧が次第に低くなり、ブレーキが利かなくなる恐れがあるため、下記のどれを組み合わせ使用した方が安全なのか?(1)まず低速ギアに入れ、ブレーキアシストシステムを併用する。(2)下り坂をニュートラルで走行すれば、ガソリンの節約に繋がる。(3)高速ギアに入れ、ブレーキアシストシステムを併用する。
151	2	エアブレーキシステムの空気圧が低すぎる場合、ドライバーに停車或いは低速ギアで減速して走行するよう警告する装置とは:(1)ブレーキバルブ(2)低圧インジケーター(3)クイックリリースバルブ
152	3	エアブレーキシステムのチェックすべき項目ではないのは、下記のどれか:(1)乾燥剤の性能(2)低圧警報器テスト(3)油圧ブースターポンプ。
153	3	ABSシステムの特徴とは、下記のどれか:(1)タイヤと地面の摩擦力を増やす(2)ブレーキをかける際に、ステアリング性能に影響を与えずにブレーキ時の安定性を高める(3)上記全て当てはまる。
154	3	車のブレーキリザーバー内のブレーキオイルを長期間交換しなかった場合、長い下り坂を走行する際にブレーキをかけると:(1)ブレーキがロックしやすくなる(2)制動距離を短くできる(3)ブレーキが利かなくなりやすい。
155	3	四輪ディスクブレーキの車の使用時間が長いほど、ニュートラルギア時のブレーキペダルの遊びがどう変化するのか:(1)大きくなる(2)小さくなる(3)変わらない。
156	2	走行中にブレーキ警告灯が点灯した場合、考えられる可能性は下記のどれか:(1)ブレーキオイルの温度が高すぎる。(2)ブレーキオイルリザーバーの油面が下がりすぎている、またはブレーキパッドの厚みが足りない(3)ブレーキパッドがディスクに引っかかった。
157	3	ブレーキで減速しているとき、正しい記述は下記のどれか:(1)ブレーキパッド及びタイヤの温度が上昇する(2)車の運動エネルギーが熱エネルギーに変換される(3)上記全て当てはまる。
158	1	車を減速させる最も経済的なやり方は下記のどれを上手く利用するのか:(1)エンジンブレーキ(2)サイドブレーキ(3)ニュートラルにして車の重さで減速する。
159	3	ディスクブレーキとドラムブレーキを比較し、ディスクブレーキの主な利点は:(1)構造がシンプル(2)制動力が大きい(3)素早く放熱する。

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

160	2	高速で走行する際に、緊急ブレーキにより車輪がロックされた場合、制動距離が:(1)短くなる(2)長くなる(3)変わらない。
161	3	坂道で駐車する際、間違っているのは下記のどれか:(1)オートマ車はまずブレーキペダルを踏み、ニュートラルに入れてからサイドブレーキを引いた後に、ブレーキペダルから足を離す。車が滑らないことを確認後、パーキングレンジに入れてからエンジンを切る。(2)マニュアル車はまずブレーキペダルを踏み、ニュートラルに入れてからサイドブレーキを引いた後に、ブレーキペダルから足を離す。車が滑らないことを確認後、1速のギアに入れてからエンジンを切る。(3)ニュートラルギアに入れ、直接サイドブレーキを引くだけで良い。
162	3	ブレーキオイルの沸点が低すぎる際、ブレーキ温度が上昇すると:(1)ブレーキがロックする(2)ブレーキに影響を与えない(3)ブレーキ時に止まりにくい。
163	3	大型車が安全に急な坂道、或いは長い坂道を走行できるよう、適切な操作は下記のどれか:(1)ブレーキペダルを踏むだけで良い(2)補助ブレーキのみを使用し、ブレーキペダルを踏む必要がない(3)まず適切な低速ギアに入れ、補助ブレーキを使って減速しても、スピードが早すぎる場合は、ブレーキペダルを踏む。
164	1	排気ブレーキの作動バルブの設置場所は下記のどれか:(1)エキゾーストマニホールド(2)エキゾーストパイプ(3)エクゾーストバルブ。
165	2	油圧減速機の設置場所は下記のどれか:(1)エキゾーストマニホールドの後端(2)トランスミッションの後端(3)ドライブシャフトの後端。
166	3	エンジン減速機の設置場所は下記のどれか:(1)エキゾーストマニホールドの後端(2)トランスミッションの後端(3)シリンダーヘッドの上端。
167	2	電磁ブレーキの設置場所は下記のどれか:(1)エキゾーストマニホールドの後端(2)駆動列(3)車輪
168	3	大型車に補助ブレーキを搭載し、下記のどの状況の時に使用するのか(1)車両を加速するとき(2)車両を駐車するとき(3)減速或いは下り坂のとき。
169	3	エンジンバルブの開放時間及びディーゼルエンジンの高圧縮比を制御することにより、車両減速用の補助ブレーキ装置の名前は下記のどれか:(1)排気ブレーキ(2)電磁ブレーキ(3)エンジン減速機。
170	3	大型車を運転する際に、下記のどの状況は補助ブレーキを使用すべきなのか:(1)一般道路(2)長く急な下り坂(3)上記すべて当てはまる。
171	3	大型車が長い坂道を下る際に、有効的にスピードをコントロールするには、下記のどれを使うべきなのか:(1)排気ブレーキ(2)油圧減速機(3)上記すべて当てはまる。
172	2	排気ブレーキが作動する際、下記の記述で間違っているのはどれか:(1)長時間の操作により、エンジンが過熱しやすい(2)アクセルを踏んだ時の

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

		効果がベストである(3)クラッチを踏んだ時は、減速の効果がない。
173	3	排気ブレーキが作動しないのは、下記のどの状況のときなのか:(1)アクセル、或いはクラッチを踏んだとき(2)トランスミッションがニュートラルギアにあるとき(3)上記すべて当てはまる
174	3	補助ブレーキについての記述が正しいのはどれか:(1)排気ブレーキは排気工程でのみ作動する(2)エンジン減速機は、エンジンの内部抵抗を増加させて効果を発揮するものである(3)油圧減速機は液体の抵抗を利用して駆動列を減速させるために作動する。
175	3	大型車のブレーキアシストシステムを使用するタイミングは:(1)車両を坂道に駐車したあと、車両が滑るのを防止するためのブレーキシステム(2)車両が高速走行する際、追突を回避するための緊急ブレーキ装置(3)坂道を下る際に、メインブレーキ(フットブレーキ)の過度の使用を避けるための減速ブレーキ装置である。
176	3	大型車のブレーキアシストシステムではないのは下記のどれか(1)排気ブレーキ(2)電磁ブレーキ(3)ターボチャージャー。
177	2	長い下り坂を走行する際の注意事項ではないのは、下記のどれか(1)まず減速してから低速ギアに入れる(2)メインブレーキ(フットブレーキ)を踏む時間を増やす(3)補助ブレーキと合わせてスピードを下げる。
178	1	補助ブレーキの種類ではないのは、下記のどれか:(1)パーキングブレーキ(2)エンジン減速機(3)電磁ブレーキ。
179	3	山道を走行する際に、ブレーキが利かなくなったとき、取れる緊急措置は下記のどれか:(1)アクセルを離し、両足でクラッチを操作し、低速ギアに入れ、近くの安全な場所を探して車を止める(2)フットブレーキが利かない場合、まず補助ブレーキをオンにしてからサイドブレーキ(パーキングブレーキ)を操作してスピードを落とす。(3)上記すべて当てはまる。
180	3	補助ブレーキを使用するタイミングは下記のどれか:(1)走行中に減速が必要になったとき(2)長い坂道を下るとき(3)上記すべて当てはまる。
181	2	エンジンの出力を下げる方法で車両の速度を落とす補助ブレーキは、下記のどれか:(1)電磁ブレーキ(2)排気ブレーキ(3)油圧ブレーキ。
182	3	排気ブレーキについて、間違っているのはどれか:(1)長い下り坂に適用する(2)重い積荷を載せているときに適用する(3)トランスミッションのギアが高いほど効果が良い。
183	1	一般的な補助ブレーキは下記のどれか:(1)排気ブレーキ(2)エアブレーキ(3)油圧ブレーキ。
184	3	大型車が坂道で駐車したあと、車両が滑る危険を回避するために、下記のどの設備を使用すべきなのか:(1)レーダー警報システム(2)油圧減速機(3)車両のタイヤ止め。

職業大型車機械常識選擇題

【 日 文 】

185	3	大型車が停車して荷物を積み下ろす際に、すべき操作は下記のどれか:(1)ニュートラルギアに入れてサイドブレーキを引く(2)車両が滑らないようにタイヤ止めを置く(3)上記すべて当てはまる。
186	2	移動式クレーンの配置と操作の安全注意事項について、間違っているのはどれか:(1)硬くて平坦な地面に止め、アウトリガーを完全に伸ばして固定してから操作すべき(2)平坦な地面に止めていれば、アウトリガーに鋼板を敷かなくても作業できる(3)車両のバランスを調整しやすいよう、傾斜角度が最も小さい地面を選ぶ。
187	2	ドライブレコーダーの駆動ギアを配置する場所は、下記のどれか:(1)クランクシャフトの後端(2)トランスミッションに(3)フライホイールに。
188	3	運転記録紙に記入しないものは、下記のどれか:(1)ドライバーの名前(2)走行距離(3)ドライバーの電話番号。
189	1	2018年1月1日以降に新たに大型車に装備できるドライビングビジョンアシストシステムは下記のどのタイプだけなのか:(1)車両安全検査基準の要件を満たすドライビングビジョンアシストシステム(2)左右両サイドのビジョンレンズ及び車両両サイドのボディを表示する車内モニター(3)外部のニアサイドミラーを車両の右側に設置し、且つ車両の右前方にレーダー警報システムを設置する。
190	2	長い坂道を下るときは:(1)ガソリンを節約するために、ニュートラルギアに入れても良い(2)坂道を下る前にまずシフトダウン(低速ギアに入れる)し、エンジンを止めてニュートラルギアにしてはならない。(3)車速が早すぎるときは、再び低速ギアに入れる。
191	1	下り坂では、低速ギアで走行すべきである。シフトをするタイミングは下記のいつなのか:(1)坂道を下る前(2)坂道を下る途中で車速が早すぎたとき(3)坂道を下り終えたとき。
192	2	車両の前方に設置するレーダーセンサーは、持続して前方の道路状況をスキャンして衝突を判断するシステムの名前は下記のどれか:(1)ブラインドスポット検出システム(2)衝突防止システム(3)車線逸脱警報システム。